

盛夏の候、地域の医療機関さまにおかれましては、いかがお過ごしでしょうか。今回の地域医療連携室ニュースは6月に開催しました職員全体研修の様様とC型肝炎地域連携パスの取り組みについてお伝えします。

【MRM 全体研修】

6月21日に研修会を開催しました。今年度は、各部門の代表者が事例を振り返り、今後の対策を発表しました。



研修会の参加人数は250名でした。全職員対象の研修会であり、参加できなかった職員は、後日追加研修が予定されています。



毎年、小林副院長が司会・進行をしています。

柴田理事は、医務局代表の発表です。



薬剤部：田井次長



放射線科：
米澤技師長



臨床検査科：
吉山臨床技術部長



看護部：榮口次長



【C型肝炎地域連携パス】

平成22年度診療報酬改定で、肝炎インターフェロン治療連携加算が新設されました。

当院では、かかりつけ医さまと連携し、C型肝炎地域連携パスによる継続的な治療の取り組みを行っています。現在6名の患者さまに運用しています。

【お知らせ・1】

糖尿病地域連携パスの糖尿病連携手帳が7月下旬に配布される予定です。ご紹介の時に、ご活用ください。



【お知らせ・2】

当院では、病理組織検査報告書を事前にFAXさせていただいておりましたが、今後は正所見と共に報告させていただくことになりました。病理組織検査結果を急がれる場合は、事前にお知らせください。FAXにてお知らせいたします。